

< 9月号企画 >

Doku-Gakuチェーンメール



ある日突然回って来たチェーンメール。

最初の質問は以下の通りでした。

“ テーマは「基準」です。映画、本、漫画など（例：音楽やTVドラマ）を選ぶときのあなたの基準はなんですか ”

さて、話は流れ流れて...いったかな？

まずは由佳ちゃん、ご指名よおん！



由佳

物を選ぶ基準、わたしの場合はほぼ直感です。

くんくんと匂いを嗅いで、むむむうこれは！と思ったら即行動したくなっちゃう。

これで失敗する事ももちろんあるけれど、多分わたしは人並み以上に自分の直感を信じてると思う。

もう思い込んだら、、、ってな具合で、時々周囲にも迷惑をかけてることでしょ。

はて、かと思うとけっこういい加減なところもあるなあ。。

ま、それはおいといて、一度好きになった作り手の作品はやはりまた手を伸ばしています。

なのでわたしの物を選ぶ基準は直感と、一度惚れたという信頼でしょうか。



グリコ

さまへ



吉田秋生の YASHA 読んでる？

バイオテクノロジーを扱うなんてまたしてもおもしろいぞ！

でもちゃんと人と人とのコミットが丁寧に扱われていて吉田カラー出てるよね。

由佳



グリコ

「基準」について。

最近は自分の好みをきっちり自分で把握しているのでキーワード検索でひっかける感じです。

タイトルに「廃墟」とかあるとむむむ、と思う。

基本的に世間の評判も信用しないし、ひとの勧めにもあんまり乗らない(最近ついこれやってしまって後悔したのは「模倣犯」)

書評や映画評は結構興味を持って読むけれど、それはその人の評価だから、と一歩ひいてみて、自分の好みには合うかなと考える(ちなみにおすぎとは趣味が合わないらしい。井筒監督はまあまあ)

あとはやっぱり「思いいれ」でしょうか。

ゆかちゃんも言ってたように、つくり手に対する信頼。

わたしも一度スゴイと思ったひとのものは追っかけていくタイプです。

まあ、あまのじゃくとかひねくれものとか・・・。

いずれにせよ DG メンバーはみんな鉄壁の「自分のシュミ」を持ってるように思います。

そしてお互い他のメンバーのことを「変わってるよねー」と言っているという・・・。

まあ、それがおもしろさの秘訣でしょうね。

では、今後も忙しい忙しいと言い訳しつつ、さぼりながらも参加していきますので
よろしくお祈いします！



がみこさま へ

こんにちは。最近さぼりぎみのグリコです。

今回のテーマはものを選ぶ基準ということで、

いろんなものを漠然と手にとっているわたしとしてはむづかしいテーマでした。

次をだれにまわすかでまた悩んだのですが、個人的に DG でいちばんおもしろいひと、
と思っているがみちゃんにお願いすることにしました！

では、よろしくお祈いします～。

ぐりこ



がみこ

何しろ感覚。だから、自分でもなんでっていうのが多い。

興味といたら、一番あっているか・・・映画は、恋愛、戦争もの以外の、

自分の感覚にひっかかるもの(ちなみに、おすぎとは、男の好みも合う)

好きな人に全面的に、信頼をおくのも、自分だけでないんだと、安心しました。

昔の好みって、変わらなくて、唄にしても、物にしてもしっかり身につけていて、

あっ、これは・・・と思うものに安心しきっている自分が今は心地良い。

でも、あくまで自分だけで、人にどこが、と指摘されると、しどろもどろ・・・

でも、それでもいいじゃあない。自分の中では、OK なんだから・・・

失敗するのも人生さ！



健ちゃんさま へ

私は誰に・・・と思ったら、健ちゃんしかいませんでした。

「ものを選ぶ基準」なのですが、考えてない事もあって、「ひっかかり」が、私のキーワードとします。ゆえに、健ちゃんも私のひっかかり・・・

なんで？それがわかんないのが私さ！

がみこ



健

「ものを選ぶ基準」

がみちゃんのキーワードは「ひっかかり」か。

漠然としていて何を書いて次に送ればいいのかわからなくて 適当に書いてみます。

優柔不断な自分にとって「選ぶ」ということは「決断」ということかな。

最も普段は基準なんて意識していなくて長年の経験と知識の蓄えで選ぶ以前に絞込みや選別をしているということはある。選ぶ対象が新しいものや初めてのものだといろいろ比べるけれど物事何でも一長一短があって結構、迷ってしまう。

特にパソコンやらAV機器など電化製品は遅いもの勝ちというところがある。

でも買うなら上位機種が欲しいし、懐具合の兼ね合いもあるしね。

今、使っているパソコンはまだ3年経っていないのにもう店には置いてない...

とにかく旅行先選びにしても、行事の店選び、手土産、贈り物など特に人の好みの絡む「選び事」は どうも苦手だ。

本、映画などは自分に合う作家、監督の作品に偏る傾向はあるものの間口は広く何でもという感じで 選り好みは少ないほうかも。(とはいうものの恋愛ものはやはり苦手か。)

「本」

実物を見てタイトルと装丁で選ぶ事が多い。もしくは読んでいる本に書いてあることや 関連する本など派生的に読む乱読派でもある。内容は楽しめながら知識が得られるもの、自分が言いたかった事を代弁しているような作品。

気がかりだった事のヒントになるようなことに触れられていると嬉しくなる。

「読書とは他人の言葉を借りて行う思索である」と誰かが言っていたが 表現力不足の自分にはうなずける言葉だ。

「映画」

鈍感なところがあるのでストレートに刺激のあるホラーものやアクションものを観ることが多い。 それでもTVで映画をやっていると作品を問わず途中からでもつい最後まで見てしまう。



yukoさま へ 

質問が何か飛んでくると思ってたもので、果たしてこれで繋がっているかはよくわからないけど、次はyukoさんにメールする事にします。後はよろしく。追伸 DOKU-GAKU 俳句、投句作品を自選するのも作句の一部というものの自分じゃなかなか選べなくて。余計な苦勞をかけてますがこれからもよろしく。

健



yuko



「ものを選ぶ基準」

うーん難しいな・・・健ちゃんの言うように漠然としているので・・・

一番基準にしているのはやっぱり自分が好きか嫌いかでしょうね。

大多数の人がこれは良いと太鼓判を押してくれても、自分が好きになれなかったら選べないものね。

ただし、本の場合は人の意見を重要視します。リストで「読んでみたいな」と感じたものは本屋でさっそく探します。

少し古い本なら「ブックオフ」で100円なんて値段で見つける事も出来ますしね。

それで本の山に囲まれてしまうのですが・・・(読めないでいる本もいっぱい)

映画の選び方には私なりの基準(というか拘り)があってこれは美術鑑賞とも似ていると思いますが、目に入って美しいもの・・・これ以外は観たくないのです。

全体的にひたすら美しい(景色、画像が)もちろん内容も必要ですが、

どんなに内容が良くても絵的に綺麗じゃないと観に行きたくない。

そんなの邪道だって映画ファンには叱られるのでおおっぴらに言った事はありません。

ホラーとかアクションものはちょっと・・・

(ハリソンフォードが大好きなのでインディージョーンズやスターウォーズは見てますよ)

絵画も色彩の落ち着いた印象派が好きで、ひろしま美術館はそういった印象派の作品が展示されていて、お気に入りの美術館です。横道にそれてしまいましたが。

私のものを選ぶ基準ってそんな所かな・・・と思います。



日出彦さま へ 

いつもバラエティに飛んだ投稿楽しく拝見しています。

健ちゃんから廻ってきたチェーンメール、次は誰に・・・と考えましたが

日出彦さんの拘りが聞きたいなと思ひまして・・・よろしくお願ひします。

こんなので良いのかどうかわかりませんがとりあえず送信します。

後は日出彦さんの意見をよろしくお願ひします。ところで、お母様は投句してくださいますが、

日出彦さんは俳句詠まれないのでしょうか？

y u k o



✉ 日出彦

小生も映画好きなので興味深く読んでます。映画館で鑑るよりもビデオで鑑る方が多いのですが…。ロードオブザリングは2度目の映画化だそうですが、CGはよくできていますが、ストーリーは中だるみで途中少し映画館で寝てしまいました。最近、ビデオでハリポタを見ましたが、これは最後まで引きつけられました。原作本を後で立ち読みしましたが、この映画は原作を知らないで見るべき映画でしょうね。

ところで、チェーンメールでは、なんかモノの選択基準について述べられていましたが、何で選ぶかっていうと仕事上は論理、私生活では感性ってところでしょうか。

読書も映画もクイズ好きなので奇妙な味とかブラックユーモアとか超論理とかの味付けがあると選んでしまいますね。

超論理といえば、論理情報学というのを開講しているのですが、その中のレポートで「架空の、または遙かな昔の歴史上の主人公のクロニクルを現在（近過去を含む）の自分（または知人、有名人）との接点を加えて2000字以内にまとめなさい。」というのを出しましたが、マンガの主人公を題材にしたのが多かったです。

ドラエモンファミリーなどは結構採点できたのですが、シャーのクロニクルとなると分からなくて、結局ガンダムの劇場用ビデオを借りて勉強しちゃいました。マンガ以外では信長が多かったです。NHKの影響か学生にも人気があるのか？ところで、このレポートはフィクションとノンフィクションを上手にフュージョンしてあたかも主人公が実在していたようなクロニクルを作ることが主題です。他にも「てなもんや商社」を読んで中国の工場の人が出てきた法外な要求をどう交すのがよいかというのもレポートに出しました。これなんか結構学生相手に楽しんだ授業ですね。本来はアルゴリズムと暗号化の入門の授業なのです。

閑話休題。読みたい本リストと読みたい本リストが頭の中で形成されていて読みたい本リストに入るものは人に勧められても読まない頑固なところがあります。遊び心がある本は大好きです。ですから絵本とか童謡集とかも好きなのですが、こればかりは買わずに図書館で見えています。Blue Days でしたか あれは傑作でしたね。こんなので答えになっているのかなあ。

で、急に思いついたのですが、各人で架空のアンソロジーを作って、その「あとがき」を投稿するっ

という企画はどうでしょうか。文庫でもありますよね。「クリスマスイブ特集」とか、「郵便配達ミステリー」とか、「カボチャのパイのアンソロジー」とか。それで、気に入った小説数編を自らアンソロジーにして、「あとがき」を最もらしく蘊蓄を傾けてまとめるわけです。

では、ごきげんよう。

p.s.

俳句や川柳はまあやらない方でしょうか？ 嫌いじゃないですけどね、お見せするほどのモノは。



がみこさま へ ☆☆☆☆☆

今（本当の意味の）夏休みでメールを見ないことにしていたのですが、整理していたら chain メールがあったのが分かりました。たぶん 5 日 + x x x になっていますね。

不可ってところかな。

次はというと、Cacco さんかうさおさんが残っているのですが、よくメールしている仲なので、反則かも知れませんが、乱数で選ばせて戴きました。 日出彦



再びの、がみこ



先ず困ったのが、クロニクル、アルゴリズム、アンソロジー・・・わからん。

ニュアンス的には、前後の文でわかるんだけど、自分の無知に傷ついちゃった・・・(嘘)

日出彦さんがどんな仕事なのかいまいち判らなくて、でも授業という言葉から、

先生、または、教授を連想しました。(違うか?)

私は、創造より、模写を仕事としてきたので、自分の中で造り出すのが苦手です。

だから物にしても、文章にしても、まあ勉強不足のボキャ不足で、中途半端なものしか出来なくて、自分の考えとかを、人に伝える能力が無いんです。

それに興味の無いものは、耳に入らないし、憶えません。

人が教えた事と、私の知りたい事が噛み合っていない事が多々あって、後になって赤面したものです。要は、理解力が無いってことです。

だからなのか、自分の好みに対してすごく頑なで、すべてを見て、すべてを消化する事が出来ないの、自然、人と壁を作っているのでしょうか。(そんな大げさではないか・・・)

いくら良いといわれても、自分の能力超えちゃったものや、好みの範疇に無いものなど、

これからも敬遠するんだらうなあ。もっと勉強しとくんだった。



C a c c o さま へ ☆☆☆☆☆

私、2度目なんですけど・・・良いんでしょうか・・・内容的に矛盾があったら、直してもらえるように、Caccoさんに送ります。

がみこ

 Cacco

わ～い、やっとチェーンメールが来たぞ。

がみちゃんには二度も行ってるのにさ・・・ぶちぶち・・・(ひがみ根性丸出し)

で、日出彦ちゃんのボキャブラリーはほんとに全く豊富で、私も前号の「観Vリスト」の「補遺」って単語がわからずに辞書引きました。(もしかしたらすごい恥ずかしいこと言ってる?)

まあとにかくクロニクルと言えば「ねじまき鳥」だってことだけはわかります。



確かこのチェーンメールのテーマはどんな基準で本、映画、漫画などを選ぶかだったよね?

なにがしか建てている自分のアンテナに引っかかってくるものだけだなあ。

私もね、「興味のないものは耳に入らないし覚えません。」

「自分の好みにもものすごく頑な」だけど、もう50(年です)だし、「人と壁を作って」も、みんな「あの人はもう残り少ない人生だから」と許してくれるんじゃないかと思ってます。

まあ別に許してくれなくてもいいけど。←こういうところが嫌われるんだよね(^_^)。

目一杯わがままに自分の周りを好きなもので固めたい。これが理想です。

失敗もあるだろうけど、その時見過ごしてしまった好きなものも縁があればまた出会えると思っています。



うさおさま へ 

いつもの話の延長ですが、次はうさおに送ります。

私からのメールじゃさぞかしつまんないと思いますが勘弁してください。

ではでは。

C a c c o



 うさお

「日出彦ちゃんのボキャブラリー」の話が出ているようですが、本人は帝京科学大学の教授ですからボキャブラリーの手持ちは豊富でしょう。でもあの人は「シャーロキアン」ですからね。

結構、下世話のボキャブラリスト(ボギャブっちゃう人ね!)だと思ふなあ。

シャーロキアン・クロニクルを書こうとしているのは知っていますが、いまだに文献収集の段階のようだし。最近では小説 WINGS で真瀬もとさんが8冊にも及ぶ大作を作っちゃたし、「コナンくん」もシャーロキアンだし、これからは激戦区にいるようだなあ。

と長い前振りから、このチェーンメールのテーマの

「どんな基準で本、映画、漫画などを選ぶか」ですが・・・(・_・;)タラタラ

思惟的なものがないと言おうか、無節操と言おうか、直感派と言おうか、タイトル派と言おうか、へそまがりと言おうか、なにしろ滅多矢鱈ですが、でも押しなべて観るとある基準が浮かび上がってきます。

- 1.硬いものは敬遠。
- 2.小津安二郎はきれいだ（山田洋二はその匂いがあるので苦手です）
- 3.恋愛ものはノー、ノー。
- 4.腰巻の惹句が素晴らしい、タイトルがいいのに惚れる。（つまり、見た目ね！）
- 5.学术论文は嫌いだが涙して読んでいます。
- 6.最近世の中を斜めに見ているものが好きになった。
- 7.Doku-gaku で褒めているもの、薦めているものには、なぜ私が先に読まなかったんだと脇に置く。

古畑うさおでした。



c hica さま 

次はc hica さんに送りますが、「浜省」以外にフリくって（注：フリークになること）いるものがあるのですか？
体育系でもなさそうだし、廃墟系でもなさそうだし、収集癖もなさそうだし（衣服は別ね！お酒のこだわりもね）・・・。
最近 personal computer で消化ね。windows xp で質問されたときは背中に汗でした。（おお、どんどん Chica さんちのシステムが壊れていく・・・） うさお



chica



え～、先ずお答えから。野球で言えば、横浜ベイスターズのファン気質にぴったりです。阪神ファンのような熱さも巨人ファンのようなトップへの執着も持ちません。
自分なりの微かな拘りはあっても、はまるということはあまりありません。好きなものがあるとするでしょ。それがいつのまにか生活の一部になって、夢中になるという事はないなあ。。
この一年くらい、はまっていたのは「ナンコツ」だけど、今となっちゃあ、浜省もPCもナンコツも振り向けばもうそこにいる（ある）って感じ。このことはこいつに聞け、といわれるような人に憧れるけど、それは私には叶わないことだと思ってます。・・・って、こんなんで、答えになってる？

でもって、チェーンメールのほうに移ります。

例えば今、健ちゃんとグリコが「理由」を読んでいるけれど、その感想が、二人とも声をそろえてつまらないといったとしても私は宮部みゆきなら自分で読まないし納得しないと思う。

でも他の作家なら、二人がつまらないと言った本はきっと読まないな。

ってことはだ、作家で選んでますねえ。

芯が一本通っている性格でもなきゃ若い頃ほどの頑なでもないの、人に薦められたものはよほど

生理的な嫌悪感がない作家以外は、受け入れます。もしかしたら好きなものが増えるかもしれないでしょ。

ただ、一度手にとって挫折した人の本は苦手意識がインプットされていて、再び手にすることは難しいな。基本的には、推理小説ファン。人が殺されないとなかなか本が読めない。ヽ(-.-;)オイオイ...

あとは、本だけでなくTVもドキュメントが好き。これはちょっと悪趣味な見かもしれないけど、日本流奈くんには興味があるし、最近ではNTVのシベリアから帰ったおじいさんの話に泣きました。

(.-.)ホッ

映画は、面白い映画を嗅ぎ分けるのは苦手のように、結構はずれが多い。

お酒を飲む人のニオイを嗅ぎ分けるのは得意なんだけどね。(お酒を飲んでる人のニオイじゃないよ)

映画の安い映画館に行こうってなると、その中から選んじゃうのが敗因でしょうか。



DGの皆様へ。 🌸 🌸 🌸 🌸 🌸

さてさて、このチェーンメール企画、これほど皆さんが親切にキーワードを書くとは思ってなくて、伝言ゲームのように話がずれていくと予想していましたが、話が繋がっていったので書きやすかったのではないかと思います (あれ? 健ちゃんが睨んでいます...)。最後のほうで話がずれたけれど、ずれた相手が内容がばれればれのC a c c oさんだったので、話も見事にというか、残念というかきちんと修正されました。でも、まあとにかくこれがDG会員同士のつながりを少しは深めることになったなら、

この企画も大成功ということになるのですが、どんなもんでしたでしょうか?

なお、この企画の中で日出彦さんから新たな企画の提案がありました。DGらしく味付けをしたいと思っているので、今しばらくお持ちくださいね。

chica